

平成20年度地域密着型金融推進計画

基本方針

平成19年度の地域密着型金融推進計画は、概ね計画どおりに進捗し、経営支援、地域に対する情報提供、多重債務者問題への対応等において一定の成果が得られました。平成20年度は、昨年度の活動を踏まえ、引き続き次の3つを基本方針とします。

1. 金庫経営の基本であるCS（お客さま満足度）の向上に結びつけた地域密着型金融推進活動に全職員で取り組む。
2. 地域の情報をお客さまの繁栄および地域の活性化に繋げ、ひいては当金庫の経営力の一層の強化に結びつける。
3. お客さまおよび地域のニーズに応えられる人材を育成する。

大項目毎の取組方針と個別の取組項目

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

日常のきめ細かい活動により、企業の経営環境・経営状態を把握し、各企業の状態・ニーズに応じた経営支援を行うとともに、そのための人材育成に努めます。また、中小企業共通の問題である「事業承継問題」への対応にも取り組みます。

- 取組項目
- (1) 早期再生への取組と持続可能性のある事業再構築
 - (2) 創業・新事業進出ノウハウの提供
 - (3) コンサルタント能力・態勢の強化
 - (4) ビジネスマッチングを活用した支援
 - (5) 中小企業施策の活用
 - (6) 事業承継問題に対する相談体制の構築

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

当金庫の強みである“Face to Face”の活動と職員の一層の目利き能力向上への取組により、企業の定性情報および定量情報を適正に評価し、取引先の状態・ニーズに合った融資手法の適用に努めます。

- 取組項目
- (1) 目利き機能の向上
 - (2) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進
 - (3) 定性情報の適正評価
 - (4) 定量情報の質の向上
 - (5) 動産・債権譲渡担保融資の活用

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」の情報機能を活用し、地方公共団体・商工会議所・地域商店街等と連携して地域の活性化に努めます。また、地域内にて金融知識の普及に努めるとともに、多重債務者問題等社会問題への対応を継続します。

- 取組項目
- (1) 各地域における地域再生協議会等との連携
 - (2) 地域顧客に対する情報提供機能の強化
 - (3) 地域を担う若い世代への金融知識の普及
 - (4) 多重債務者問題への対応

4. 協同組織金融機関としての取組

協同組織金融機関としての機能を強化するために、会員からの意見の吸収と金庫業務への反映を図ります。そして、地域でより一層の信頼を得るために当金庫の経営力の強化に努めます。

- 取組項目
- (1) 会員からの意見の金庫業務への反映
 - (2) 法令遵守の徹底
 - (3) リスク管理体制および収益管理体制の充実

・個別の取組項目と推進計画

取組項目	具体的取組策	実施スケジュール		備考
		20年度上期	20年度下期	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化				
(1) 事業再生				
早期再生への取組と持続可能性のある事業再構築	シミュレーションソフトを使って支援企業の現状を分析・把握し、支援先ごとに支援方針と活動方針を決定する。 また、進捗状況を常に管理し、進捗状況に応じて支援活動方針を再構築する。	支援先を選定し支援方針を検討する。 改善計画を作成・実行し、支援先企業のモニタリングを実施する。 ・中小企業支援策の勉強会を実施し活用先を検討する。 ・中小企業再生支援協議会を活用した再建策を検討する。	引続き改善計画に基づき経営支援を継続し、支援先企業のモニタリングを実施する。	計画策定先数 目標20先
(2) 創業・新事業支援				
創業・新事業進出ノウハウの提供	創業計画策定支援や中小企業支援施策等の情報を提供するとともに、新事業進出における経営革新計画策定アドバイスをする。 また、新商品の開発や地元商工会との連携等により創業ニーズに応える。	・創業希望者に対して事業シミュレーションの策定をサポートする。 ・地元商工会にて創業塾や経営革新講座をサポートする。 ・創業関連融資商品を開発する。	・創業希望者に対して事業シミュレーションの策定をサポートをする。 ・経営革新計画の作成をサポートする。	
(3) 経営改善支援				
コンサルタント能力・態勢の強化	経営支援担当者を対象とした勉強会を開催する。また、提案効率を高め提案レベルを平準化するための支援ツールを作成する。	・中小企業支援施策についての勉強会を開催する。 ・効果的な提案活動をするために、提案書作成ツールを整備する。	提案書作成ツールを活用し、提案活動を行う。	
ビジネスマッチングを活用した支援	「しんきんビジネスフェア in Hmamoto」および「しんきんビジネスマッチングフェア2008」に参画するとともに、その他のビジネスフェアの開催情報を提供する。 また、えんしん経営者クラブが主催する交流会を開催し、ビジネスマッチングを支援する。	・「しんきんビジネスフェア in Hmamoto」の出展企業の募集を行う。 ・「しんきんビジネスマッチングフェア2008」の出展企業・発注企業・産学連携ビジネス大賞を募集する。 ・えんしん経営者クラブ主催、「組織活性化セミナー&交流会」を開催する。	・「しんきんビジネスフェア in Hmamoto」を開催する。 ・「しんきんビジネスマッチングフェア2008」に参画する。 ・「新春経営セミナー&交流会」を開催する。	
中小企業施策の活用	中小企業施策に関する情報提供や各種計画の認定支援を行うとともに、外部機関と連携して当該機関の経営改善支援策を活用する。	・地域力連携拠点事業に参画して、取引先の経営改善支援に役立てる。 ・取引先に対して各種中小企業施策に関する情報を提供する。	上期の取組を継続する。	
(4) 事業承継				
事業承継問題に対する相談体制の構築	事業承継問題に対する相談に対応できるような人材を育成する。 また、専門的な事業承継問題に対応できるよう外部機関等と連携し相談体制を構築する。	・事業承継問題に対応できるよう「事業承継Q&A事例集」を作成する。 ・浜松商工会議所の事業承継支援センターと連携し、相談体制を構築する。 ・税理士による事業承継個別相談会を開催する。 ・事業承継問題の相談に対応する。	・事業承継問題の相談に対応する。 ・「後継者育成セミナー」を開催し、事業承継ニーズに対応する。	

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底				
(1) 担保・保証に過度に依存しない融資				
目利き機能の向上	税理士、専門家等による金庫内研修を実施する。	静岡県信用金庫協会による目利き講座へ職員を派遣する。	自主勉強会を実施する。	
担保・保証に過度に依存しない融資の推進	既存先融資および創業時融資等の実態を把握し、事業性融資の新商品を開発するとともに、融資開拓活動の実施により推進を図る。	融資開拓活動を実施する。	・融資開拓活動を実施する。 ・地域活性化に対応した新商品を開発する。	
定性情報の適正評価	日常的なコミュニケーションにより収集する定性情報の精度向上と信用格付への反映活用を図る。 また、取引先の知的財産や技術力など企業活動を評価し、審査へ反映させる。	決算時に経営環境や企業体質等を聴取し、それらの定性情報等を信用格付や融資審査に反映させる。	上期取組を継続する。	
定量情報の質の向上	財務諸表の正確性を前提に外部格付を活用しつつ信用格付の精度を高めていく。	税務申告用決算書・付属明細書の徴求を徹底し、外部格付との整合性を検証しつつ信用格付の精度を向上させる。	上期取組を継続する。	
動産・債権譲渡担保融資の活用	定期的・継続的モニタリングにより企業の実態を把握し資金需要に対応していく。	・ 売掛債権担保保証制度 への取組を強化する。 ・ 設備担保信用補充制度 「しんきんMEサポート」の取組を開始する。	設備担保信用補充制度「しんきんMEサポート」の利用促進を図る。	
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献				
(1) 地域の面的再生				
各地域における地域再生協議会等との連携	「館山寺温泉街まちづくり協議会」全体会議へ参画する。	「街並・景観に関するルール作り」「温泉街の魅力アップ事業の企画」中心に全体会議に参画し、地元のまちづくりに貢献していく。	上期取組を継続する。	
地域顧客に対する情報提供機能の強化	NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携し、地域顧客に対し、金融経済動向等の情報提供を行う。	・「NPO法人静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携し、金融経済動向等の情報を提供する。 ・「NPO法人静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携し、セミナー・勉強会等を支援する。	上期取組を継続する。	
(2) 地域活性化のためのサービス提供				
地域を担う若い世代への金融知識の普及	地域の学校への出前講座、営業店における学生の職場体験等とおして基礎的な金融教育について指導する。	生涯学習インストラクター 資格を有する職員などを活用して地域の学校に金融教育を実施する。	上期取組を継続する。	
多重債務者問題への対応	NPO法人「えんしん地域サポート」と連携し、相談会情報等を発信する。また、当金庫による無料相談会情報を発信する。	・「NPO法人えんしん地域サポート」と連携し、相談会等により多重債務者問題に対応する。 ・多重債務者問題の相談会の案内チラシを作成し、配布する。	上期取組を継続する。	

4. 協同組織金融機関としての取組				
(1) 会員との関係強化				
会員からの意見の金庫業務への反映	会員に対するアンケートを実施する。	アンケート項目を決定しアンケート用紙を作成する。	アンケートを実施し、その結果を集計および分析し、金庫業務への反映を検討する。	
(2) 経営力の強化				
法令等遵守の徹底	勉強会・講習会等を実施し、コンプライアンスの認識を強化するとともに、各種会議でコンプライアンス臨店指導結果等を開示し、改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「パワーハラスメントのない職場づくり」と「内部統制の強化に向けて～不祥事の撲滅を目指して」の2冊の冊子を参考書として勉強会を実施する。 ・会議でコンプライアンス抵触が懸念される苦情の事例を発表し、再発防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「メンタルヘルスハンドブック」を参考書として勉強会を実施する。 ・不当要求防止責任者講習を開催する。 ・各種会議等でコンプライアンス臨店指導結果等を開示し、改善を指導する。 	
リスク管理体制および収益管理体制の充実	リスク管理精緻化のため、リスク計測手法を検証し改善方法を検討する。また、ALM委員会の充実を図るため、討議内容等を検討する。併せて、能力向上と人材育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・市場VaR、信用VaR算出手法を検証する。 ・ALM小委員会の充実を図る。 ・リスク管理とALMに関する研修等に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場VaR、信用VaR算出手法の改善を検討する。 ・「ALM委員会規定」の見直しを検討する。 ・リスク管理とALMに関する研修等に参加する。 	

* 青文字は用語解説があります。

<用語解説>

ビジネスマッチング	金融機関のお客さま同士をビジネスでつなぐことです。
地域力連携拠点事業	商工会議所・商工会・地域金融機関・各種支援機関等が連携して、中小企業が抱える問題解決に向け経営相談・専門家派遣・情報提供・ビジネスマッチング等の支援を行い、中小企業の経営の向上を図る事業です。
目利き機能	目利き能力とは、企業の将来性や技術力を的確に評価する能力のことをいいます。当金庫においても、企業の事業運営の仕組みを理解する力を高め、創業企業および取引先企業に対する経営相談・支援機能を発揮できる人材を育成する等目利き機能の向上に努めています。
定性情報	貸借対照表や損益計算書等の数値・データおよびそれらの推移等を定量情報と言うのに対して、企業が持つ技術力や市場環境等を評価したものを定性情報と言います。
信用格付	信用格付は、統一的な基準で企業を評価することにより企業評価を標準化するとともに、貸出に係る信用リスクを計量化することにより貸出資産の健全性を確保する仕組みです。
売掛債権担保保証制度	事業者が取引先に有している売掛債権を担保として信用保証協会が融資を保証する制度です。
設備担保信用補完制度	お客さまが保有する機械設備を担保として、その価値を基準にリース会社と信金中央金庫が融資を保証する制度です。
NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」	県西部地域を対象として、経済動向の把握、中小企業に対する経営情報の提供、生活者に対する金融経済知識の普及等を行うことを目的として、浜松信用金庫と共同で設立したシンクタンクです。
生涯学習インストラクター	自治体や教育委員会でも住民の協力を得て地域のまちづくりや公民館、各種施設など地域での生涯学習を推進する動きが活発化していますが、生涯学習インストラクターはその地域の要請に応えるよう自治体の文化活動への指導・企画立案・助言を行うプロフェッショナルとして(財)社会通信教育協会が認定した資格です。
NPO法人「えんしん地域サポート」	浜松市及びその周辺の地域・住民に対して、社会的弱者への支援、経済の活性化、文化・生活環境の向上及び個人の能力向上等に関する事業を行い、もって公益の増進と地域社会の経済・文化等の活性化と発展に寄与することを目的に、金庫役職員が中心となり平成19年2月に設立したNPO法人です。
会員	当金庫の地区内に住所または居所を有する者、事業所を有する者もしくは勤労に従事する者で、事業者においては、従業員300人以下または資本金が9億円以下に限られており、出資をされている方です。
法令等遵守(コンプライアンス)	急激な時代の変革の中でより健全経営を遂行していくため、企業・職業倫理の向上に努め、日常業務運営において法令や規則等を遵守して違法行為等の早期発見や事故等の未然防止を図ることです。
ALM	Asset Liability Management の略。資金の調達・運用に係るリスクを最小にして収益の極大化を図るべく、資産と負債を総合的に管理する手法のことです。
VaR	Value at Risk の略。将来の特定の期間内に、一定の確率の範囲内で資産の現在価値がどの程度損失を被るかを、過去のデータをもとに理論的に算出した値で、リスク量の計測に使われます。